



JAあそだより

平成21年 8月



農村公園あびか(阿蘇市)

■今号16ページ主な内容

- 第8回通常総代会
- 各農産物の生育状況
- 各生産部会で出荷査定会・総会
- 各地域で子供たちが農業体験 ほか

2009
夏

VOL.46



JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



第8回通常総代会が6月25日、総代の方々やJA阿蘇役員職員をはじめ、管内市町村長・議会代表ら多数の来賓を迎え、阿蘇市体育館で開催されました。まず開会挨拶で中尾雄二組合長(写真)が「農業を取り巻く環境は依然として大変厳しいものがある。しかしながら、引き続き組合員皆様の負託に応えられるようなJA阿蘇を目指していきたい」と力強く述べ、総代会での慎重な審議を訴えました。

第8回通常総代会が6月25日、総代の方々やJA阿蘇役員職員をはじめ、管内市町村長・議会代表ら多数の来賓を迎え、阿蘇市体育館で開催されました。まず開会挨拶で中尾雄二組合長(写真)が「農業を取り巻く環境は依然として大変厳しいものがある。しかしながら、引き続き組合員皆様の負託に応えられるようなJA阿蘇を目指していきたい」と力強く述べ、総代会での慎重な審議を訴えました。



第8回通常総代会を開催
全議案とも議案通り承認



菅美佐子氏(写真)が新理事に選任された。女性部の声をJAに反映するため参加を促した。尚、総代会に先立ち、平成20年度表彰が行われました。

また、女性部組織から菅美佐子氏(写真)が新理事に選任された。女性部の声をJAに反映するため参加を促した。尚、総代会に先立ち、平成20年度表彰が行われました。

議事では重岡晴光氏(阿蘇市波野)が議長に選任し、第1号議案(平成20年度事業報告及び剰余金処分案について)、(報告事項)平成20年度貸借対照表・損益計算書・注記表及び附属明細書について、第2号議案(平成21年度事業計画及び関連事項について)、第3号議案(定款の変更について)、第4号議案(信用事業規程の改正について、農地保有合理化事業規程の改正について、役員退任給与金引当規程の改正について)、第5号議案(21年度産米の計画生産達成に向けた取り組みについて)、第6号議案(役員(補欠)選任について)が執行部より提出。質疑応答が行われた結果、全議案とも議案通り承認されました。



議長では重岡晴光氏(阿蘇市波野)が議長に選任し、第1号議案(平成20年度事業報告及び剰余金処分案について)、(報告事項)平成20年度貸借対照表・損益計算書・注記表及び附属明細書について、第2号議案(平成21年度事業計画及び関連事項について)、第3号議案(定款の変更について)、第4号議案(信用事業規程の改正について、農地保有合理化事業規程の改正について、役員退任給与金引当規程の改正について)、第5号議案(21年度産米の計画生産達成に向けた取り組みについて)、第6号議案(役員(補欠)選任について)が執行部より提出。質疑応答が行われた結果、全議案とも議案通り承認されました。

平成20年度表彰者氏名



■営農関係者

- | | |
|------------|-------------------------|
| 農産(米) | 峯 敬止(南部営農C管内) |
| 農産(米・麦・大豆) | ㈱阿蘇三久保ファーム
(中部営農C管内) |
| 園芸(胡瓜・メロン) | 宅野 伸一(小国郷営農C管内) |
| 園芸(イチゴ) | 武田 智秋(南部営農C管内) |
| 園芸(ホウレンソウ) | 高橋 良嗣(中部営農C管内) |
| 畜産(肉用牛) | 原山 寅雄(小国郷営農C管内) |
| 畜産(肉用牛肥育) | 井 博明(中部営農C管内) |
| 畜産(肉用牛) | 藤川 尊(南部営農C管内) |

■共済契約高額者

- | |
|------------------|
| 宮川 暎一(阿蘇町中央支所管内) |
| 洞田貫逸雄(阿蘇町中央支所管内) |
| 山内サカエ(阿蘇町中央支所管内) |

■特別功勞表彰

河崎 徳雄(前役員)

●永年勤続者(職員30年)

- | | |
|-------|----------|
| 山中 敬夫 | 蘇陽中央支所 |
| 今村 孝誠 | 南部営農センター |
| 下城 康寛 | 購買部 |
| 藤原 孝廣 | 事務電算室 |
| 甲斐 一誠 | 一の宮中央支所 |
| 町 みどり | 馬見原支所 |
| 藤本 親幸 | 白水中央支所 |
| 工藤ひとみ | 波野支所 |
| 本田 恭輔 | 久木野中央支所 |
| 阿南 桂一 | 金融共済部 |

●永年勤続者(職員20年)

- | | |
|-------|-----------|
| 志賀 詩 | 一の宮農機センター |
| 市原 恵一 | 白水中央支所 |
| 塚本かよみ | 一の宮中央支所 |
| 佐藤 寿則 | 小国郷営農センター |
| 山部 聡輔 | 中部営農センター |
| 宮川 己則 | 中部営農センター |
| 後藤弘之助 | 小国郷中央支所 |
| 下村 修生 | 阿蘇町中央支所 |
| 山内美奈子 | 事務電算室 |
| 橋本 由美 | 阿蘇町中央支所 |
| 秋吉 芳朗 | 小国郷中央支所 |

**慶祝者22人を表彰
農林年金受給者連盟
阿蘇支部総会**



総会に出席した会員の皆さん

農林年金受給者連盟阿蘇支部は6月29日、阿蘇市で47人が参加して通常総会を開き、全議案を承認しました。原山勝副支部長はあいさつの中で「表彰を受けられ喜寿の方は米寿へ、米寿の方は白寿に向けて健康管理に留意して下さい」と祝福しました。2009年度慶祝者表彰では米寿の9人、喜寿の13人に表彰状と記念品が贈られました。

来賓祝辞の中尾雄二組合長は「先輩方の経験や熱い思いを引き継ぎ、JA経営安定のためにかんばります」と決意を述べました。



慶祝者表彰を受ける会員

総会後は「農林年金をめぐる情勢について」と題し、熊本県農林年金相談員の岡本正憲さんが、特例年金制度見直しの動きなどについて講演を行いました。

**積極的にJA運動に参画を！
青壮年部・女性部が
JA阿蘇役職員と対話集会**



青壮年部・女性部とJA役職員との対話集会

**女性部の輪を広げよう
3支部合同で健康教室始まる**

JA阿蘇南部地区の女性部では地区の範囲を越えての交流を目的として、白水・久木野・長陽の3支部合同で7月2日より健康教室を始めました。この健康教室は3支部の女性部が地区を越えて交流する場が少ないので、この教室を通して知り合いを増やしてもらいたいという各支部長の意見があったため、早速、7月2日より毎週木曜日、合計4回行いました。

JA阿蘇青壮年部と女性部は7月9日、阿蘇市のはこぎ荘でJA役職員らと対話集会を開き32人が参加しました。中尾雄二組合長があいさつで「JAの経営状況は厳しいが、青壮年部と女性部が協力してJAの事業運営に積極的に参画してほしい」と述べ、参加者全員が自己紹介をしました。その後、質疑応答に入り、支所の統廃合や不稼働資産の利用方法、今後の農産物の販売方法などの質問や要望が出されました。

倉岡誠喜青壮年部長は「今後もこういった機会を増やしていき、JA・青壮年部・女性部が協力して利用しやすいJA作りをしていきたい」と抱負を語っていました。

当日は、JA熊本厚生連の甲斐望美さん（健康運動実践指導者）を講師に迎え、部員20人が参加し健康体操などを行いました。

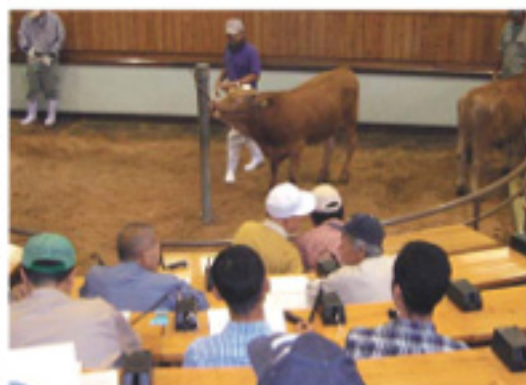
参加した部員は「農作業では行わないような動きもあり、楽しく体操が出来た」と話していました。



健康体操をする女性部の皆さん



**肥後のあか牛子牛
取引価格やや上げ
JA阿蘇小国郷家畜市場**



あか牛のせり値がやや持ち直したJA阿蘇小国郷家畜市場

小国郷家畜市場で6月5日、牛のせり市があり県内外から購入者が集まりました。せりにはあか雌29頭、あか去勢36頭、黒雌20頭、黒去勢23頭の計108頭が上場され、平均価格はあか雌22万8394円、あか去勢27万4604円、黒雌24万8063円、黒去勢30万3784円となりました。前回の4月市場対比では、あか牛2万1385円の増、黒牛4823円の減となりました。

佐藤正畜産課長は「消費者ニーズが世界的不況もあり、高級肉から手頃でヘルシーなあか牛肉(国産牛肉)に向いているように思う。小

国郷は原野(放牧地)が多く、草を豊富に食べた子牛が市場で取引され購買者より評価を得ていること、今回の市場動向について語っていました。

**夏秋キュウリ出荷スタート
JA阿蘇中部キュウリ部会**



阿蘇市管内で6月8日から夏秋キュウリの出荷が始まりました。当日、JA阿蘇中部キュウリ部会員の市原伸博さん(60)のハウスでは、4月下旬に定植したキュウリが初出荷を迎え、定植後、夜温の低下などにより例年より1週間ほど遅い出荷となりました。

当地域では寒暖の差があるため、肥培管理が難しい半面、食味・食感には申し分なく、指導員の井手友和職員は生育良好のキュウリを見て「長期間の作型だが、肥培管理を十分に指導し、10a当たりの収量を12t以上生産したい」と語っていました。

同部会では、主にブルームレスキュウリとブルームキュウリの2種類の栽培に取り組んでおり、ブルームレスキュウリは地元市場を重点に出荷し、ブルームキュウリは福岡の生協へ出荷をしています。販売担当の大串洋介職員は「販売促進等を行い、このおいしいキュウリをもっと知ってもらいたい」と強調していました。出荷期間は6月上旬から11月下旬までの半年間の予定です。

**夏秋キュウリの査定会開催
JA阿蘇中部キュウリ部会**

JA阿蘇中部キュウリ部会は6月19日、JA阿蘇一の宮選果場で生産者やJA関係・市場など約30人が参加し、2009年度産キュウリ出荷査定会を開きました。

まず阿蘇品春輝部会長が「去年の安値安定ではなく、シーズンを通しての高値安定を目指し、関係機関のご協力を頂きたい。また、査定会の説明内容を生産者各位が良く遵守し、出荷して頂きたい」とあいさつ。

次に各市場より情勢報告を受け、出荷計画・利用料金・持ち込み要領について、販売担当の大串洋介職員より説明がありました。



あいさつをする阿蘇品春輝部会長

**香り、美味しさ抜群の出来
JA阿蘇小国郷製茶工場**

JA阿蘇小国郷製茶工場が6月19日開いた新茶即売会は、早朝にもかかわらずたくさんのお客様をみせました。製茶工場の清高直樹職員は「今年の一番茶は、高冷地特有の寒暖の影響でここ数年にない最高の香り高き、美味しいお茶」と自信満々です。この自信満々の新茶は、JA小国郷中央支所や関連施設でも販売中です。問い合わせはJA阿蘇小国郷農産課(電)0967(46)3212(写真は次ページに掲載)

賑わった小国郷の新茶即売会



(→記事は4ページを参照ください)

期待の赤肉メロンいざ出陣
南部地区メロンリレー
販売終盤戦へ

J A阿蘇高森メロン部会では6

月15日から、期待の赤肉メロンレノンの出荷が始まりました。高森地区はJ A阿蘇西原地区から始まったリレー販売の最後を締める産地で、他県の赤肉産地の切れ間を狙って作付されており、今後の販売に大きな期待がかかっています。

今年度は定植も順調に終わり、その後、一時



的に気温が低かったこともあり、生育はやや遅れ気味でしたが、交配時期である5月から6月にかけて天候に恵まれたこともあり、例年でない品質となりました。

生産者の岩下裕二さん(43)は「この赤肉の鮮やかな色と食味を多くの人に味わってもらいたい」と今後の販売に期待していました。

J A担当者も「赤肉メロンの魅力を多くの方に味わって頂きたいので、今年は直売にも取り組んでいく」と意気込みを話していました。出荷は7月中旬まで行われました。(写真＝出荷作業に追われる生産者)

「特産「ヒゴムラサキ」の消費拡大を

J A阿蘇南部ナス部会

J A阿蘇の高森地区で6月22日、2009年度南部ナス部会の出荷査定会が行われ、生産者・市場関係者・J A関係者など約50人が参加しました。

査定会に先立ち、吉良山友二部会長が「ヒゴムラサキのブランド化を確立するためにも、生産者一丸となって高品質の品物を安定して供給できるように頑張りました」とあいさつしました。

担当職員からは生産者によって等級の個人差が出ないよう出荷規格の説明、出荷時の注意事項が述べられました。田上伊織指導販売係は「ヒゴムラサキは、いろいろな調理方法があり消費者を楽しませることが出来る。生でも美味しいの



でぜひ一度食べて欲しい」と、ヒゴムラサキの特長をアピールしました。

また同部会は7月4日から5日にかけて熊本市内の量販店で行われたJ A熊本経済連主催の販売促進キャンペーンに参加しました。

(写真＝出荷規格の説明を真剣に聞く生産者)

パソコンで出荷実績・市場状況を具体的に説明

J A阿蘇南部イチゴ部会
出荷反省会・総会

J A阿蘇南部イチゴ部会(村上豊彦部会長)写真次ページは7月6日、南阿蘇村で2008年度出荷反省会及び総会を開き、生産者など約50人が出席しました。総会では、08年度事業報告など4議案が承認されました。

出荷反省会ではJ A担当職員がパソコンを使って、今シーズンの出荷実績や市場からのクレームなどの写真を生産者に見せ、来シーズンに向けての改善点について具体的な説明が行われました。

出席した生産者は「紙に書いてあ

(記事は次ページに続く)

(6ページより続く)
る資料よりも、スクリーンの画像を見られて分かりやすかった」と話していました。

〇8年実績は出荷数量47万パック(前年比96%)、販売金額1億2600万円(同94%)、平均単価268円(同98%)となっています。

同部会では、〇8年に平詰め出荷やソフトトレーによる出荷など、単価の取れる商品作りを行っており、出荷反省会及び総会では来年度に向けて、生産者より活発な意見が飛び交いました。



あいさつをする村上部会長



阿蘇ミニトマト出荷始まる
J A阿蘇南部地区

J A阿蘇南部地区管内の白水ミニトマト部会(下田広義部会長)では、6月上旬より2009年産ミニトマトの出荷が始まりました。連日、同地区の野菜センターには生産者がバック詰めしたミニトマトが持ち込まれ、県内の市場を中心に出荷が行われています。

〇9年産は定植後に低温の影響があり、生育にやや鈍さが見られましたが、その後は好天に恵まれたこともあり昨年より5日程度早い出荷となりました。

現在の出荷数量は日量8000〜1万2000パック(1パック200g)程度となっています。販売担当の村上洋二郎職員は「生育は遅れていたが現在は順調な生育をし

ており、味と品質はどの産地にも負けない自信があります」と今後の販売に期待をしていました。

白水ミニトマト部会は以前、県野菜振興協会より団体功労賞を受賞しており、長年にわたり高品質の商品を出荷し、市場より高い評価を得ています。本年度は栽培者23人(前年比95%)、栽培面積5.5ha(同100%)、出荷数量230t(同101%)を計画。8〜9月をピークに11月まで出荷を予定しています。

品種構成はキャロルクイーン(83%)、T-196(13%)、千果(4%)となっています。
(写真1)品質チェックを行う担当職員

目標販売高5億1000万円
さらなる産地情報の精度向上を
J A阿蘇南部トマト部会

J A阿蘇南部トマト部会は6月19日、生産者や県・市場・J A関係者ら約110人が参加し、2009年度南部トマト部会出荷査定会を行いました。

岩下雅文部会長が「どこの産地にも負けない高品質のトマトを作り、安全・安心の美味しいトマトを

消費者へ届けたい」とあいさつ。

今年の定植は3月中旬から始まっており、8月中旬まで予定されています。定植時期を早めから遅い時期まですることにより、9月と10月にも安定した出荷数量が出来ることを目的としています。また、同部会では圃場ごとに土壌分析を行い、その結果に応じて必要な量だけを施肥することで無駄なコストがかからないようにしています。



あいさつする岩下雅文部会長

販売目標8億6400万円
JA阿蘇中部ミニトマト部会査定会



JA阿蘇中部ミニトマト部会は6月10日、JA阿蘇一の宮中央支所で生産者・JA・市場関係者ら約150人が参加し、2009年度産ミニトマト出荷査定会を開きました。
森政義部会長は「いよいよ、よトマトの出荷が本格的に始まります。査定会の説明内容を生産者各位がよく遵守し、出荷して頂きたい」と力強くあいさつ。続いて、09年度産生育状況報告が指導員からあり、各市場よりの情勢報告を受け、出荷計画・利用料金・持ち込み要領について、販売担当より説明

が行われました。

今年度は作付面積35ha(前年比100%)、生産者144人(同97%)、出荷計画72万ケース(4kgケース)で、8億6400万円の販売金額を見込んでいます。

販売担当の松田浩幸職員は「この素晴らしい阿蘇ブランドをもっと、もっとアピールしたい」と意気込んでいました。

(写真) 出荷査定会会場であいさつをする森政義部会長

「いかがすーおいさつ」
阿蘇高原夏秋トマト出荷
阿蘇中部ミニトマト部会

阿蘇野菜選果場で特産ミニトマトの出荷が始まりました。2009年度は4月下旬から定植が始まり天候にも恵まれ、果形は申し分なく病虫害の発生も少なく、生産者の

シーズンを越し高値安定めざそう
夏秋ミニトマト査定会

JA阿蘇中部ミニトマト部会

JA阿蘇中部ミニトマト部会は7月3日、阿蘇集荷場で生産者やJA、市場関係者など約30人が参加し、2009年度産ミニトマト出荷査定会を開きました。

白石忠幸部会長は「シーズンを通しての高値安定を目指し、関係機関のご協力を頂きたい。また、査定会の説明内容を生産者各位がよく遵守し、出荷して頂きたい」とあいさつ。

努力により順調に生育。6月20日過ぎからは本格的に稼働をしています。

JA阿蘇の中でも上位の作付面積を誇る夏秋トマト。寒暖の差があるため肥培管理は難しいのですが、食味は申し分ありません。

出荷は11月下旬頃までとなっております。生育良好のミニトマトを見て販売担当の松田浩幸職員は「自信を持って販売していきたい」と、語っていました。

(写真) ミニトマト出荷の最盛期を彩るフル稼働するミニトマト選果機



査定会では各市場からの情勢報告を受け、出荷計画・利用料金・持ち込み要領について、販売担当より説明がありました。

また、梅雨期終盤を迎える中で肥培管理について、指導員の平野伸太郎職員より説明が行われました。

(写真) あいさつをする白石忠幸部会長



青壮年部高森支部の指導で 高森中央小1年生が サツマイモ植える

農作物の生長を通して農業を身近に感じてもらおうと、JA阿蘇青壮年部高森支部は6月4日、高森町の畑で高森中央小1年生47人とサツマイモの定植を行いました。同支部部員が定植の説明を行い、児童らは慣れない手つきながら5aの畑に約300本の苗を一本一本丁寧に植え付けました。今回の指導をした同支部の山室宝誠さん(35)は「サツマイモの生長を通じて、農業の楽しさを伝えていきたい」と抱負を語っていました。

今秋10月には児童らと収穫を行う予定です。



サツマイモの植え付けに参加した高森中央小の1年生とJA阿蘇青壮年部高森支部の皆さん

「耕作放棄地を解消しよう!」 青壮年部高森支部、子供たちと一緒に 再生に取り組む

JA阿蘇青壮年部高森支部は6月8日、高森町農業委員会を通じ、同町で解消可能な耕作放棄地14haのうち23aの水田を借り、高森中央小3年生40人と県・高森町農業委員が参加し、地大豆「みさを大豆」を栽培します。これは県の支援事業「子どもたちによる耕作放棄地再生モデル事業」の一環として行われるものです。

同支部では07年度より、同小全学年を対象に食育に取り組んでおり、今年度で3年目を迎えます。

三森伸治支部長は「現在の高森町農業は高齢化などで耕作放棄地が年々増加している。このまま耕作放棄地が増えれば、作物を作っても鳥獣害等の影響で大きな被害が広がる。そこで、青壮年部の力を結集し、少しずつでも耕作放棄地の解消に努めたい」と、この取り組みの意義を語っています。

今後の予定として、6月中に地域農業サポーターによる講話、7月に種まき、11月に収穫を行い、収穫した大豆はJA阿蘇女性部と熊本ふるさと食の名人の協力で、大豆料理に挑戦します。



再生させた耕作放棄地で大豆の種まき 青壮年部高森支部と高森中央小3年生

「耕作放棄地を解消しよう」と、青壮年部高森支部が6月に耕作放棄地を高森中央小3年生と一緒に草取りなどを行い、その後、青壮年部が地元業者と協力し、約1か月をかけて畑に再生した高森町の耕作放棄地23aに、7月9日大豆の種まきをしました。当日は、青壮年部高森支部員と県・農業委員会・高森中央小3年生40人が参加しました。

前日、子供たちは総合学習の時間に大豆の栽培方法や、大豆を使った製品作りなどを学んでおり、また、昨年大豆を栽培した同小4年生から、地大豆「みさを大豆」の種を受け継ぎ、今回の種まきとなりました。

子供たちは青壮年部から種まきの説明を真剣に聞き、一粒ずつ丁寧に植えました。



青壮年部の指導で大豆の種まきをする子供たち

参加した同小の井芹稚菜さんは「種まきは大変だったけど、たくさん大豆を収穫して、みんなで食べるのが楽しみです」と、うれしそうに話していました。

先進地JA都城へ研修旅行＝西原甘藷部会 「自分たちが作った甘藷の新作料理にしたつづみ」



西原甘藷部会は甘藷産地の先進地であるJA都城(宮崎県)に7月15・16日、部会員ら41人が参加し研修を行いました。JA都城は甘藷をはじめ、キュウリ・ゴーヤ・ごぼう等を主に生産しており、水田と畑の面積は1万4000ha、販売高は園芸25億円、農産28億円、畜産200億円のJAです。また、新規作物として生姜(ショウガ)を取り入れています。

研修があった同JAの野菜集荷センターでは、早堀りの甘藷の出荷が始まっており、品種は宮崎紅で、早出しは5月下旬より始まり7月末で終了、9月から今春植え付けの甘藷の出荷が始まるそうです。今年の甘藷は長と丸(形状)の比率が7:3。収穫量は平年並みで、単価は景気の影響と昨年収穫した甘藷の出荷が終わっていない産地もあり、例年より厳しいとの担当者の話でした。

この研修会の二つ目の目的は夕食時のメニューです。農協観光が取り組んでいる「研修する部会の作物を料理

に使おう」という内容です。部会は事前に甘藷をホテルに送り、料理人がプロの意地で料理した甘藷料理を楽しみました。料理は「甘藷のスープ」「浜甘藷(揚げ馒头にあんかけしたもの)」「甘藷の寒天」の3品(左写真)、料理を食べた部会員は「自分たちが丹精こめた作った甘藷なのですごくおいしかった」と、評判は上場でした。

地元食材生かし“夏バテしない料理”講習会 JA阿蘇南部地区女性部

南部地区女性部は7月25日、夏の料理講習会を南阿蘇村で行い、女性部白水支部・長陽支部・久木野支部の約20人が参加。「家の光」に掲載してある献立より抜粋した料理を含めて10品程度(写真下)を調理しました。

今年は食材を各部員が持ち寄り、肉や魚類をほとんど使用しない家庭菜園で、収穫された野菜を中心とした献立となりました。調理・盛り付け後は部員全員で試食し、自分たちの作った料理の味を確かめていました。



JA阿蘇の有資格者100%が目標



危険物取扱者資格試験

(財)消防試験研究センター熊本県支部主催の09年度第一回危険物取扱者試験(6月7日)に向け、6月3日、受験予定者の事前講習会が阿蘇市でありました。JA阿蘇では危険物取扱者資格(乙種第4類)の全職員100%の資格所持者を目指し取り組んでいます。現在、436人の職員のうち、既に同資格を33%の143人が取得済みです。

今回の事前講習会にはアルバイト職を含め受験予定の76人が参加。講習会は午前9時30分から午後4時30分まで行われ、受講者は講師の説明を熱心に聞き入り、質疑応答を行うなど試験に備えました。

現在、JA阿蘇管内には46基の地下タンクがあり、その貯蔵量は69万リットルを超え、2000ドラム缶に換算すると約3500本分に相当。また給油取扱所20施設、一般取扱所8施設、屋内貯蔵所2施設、地下タンク貯蔵所12施設、移動タンク貯蔵所9台を所有し、組合員の生活や農作物生産に密接する燃料類の安定供給を行っています。講習会を企画した購買部の松岡勝也担当職員は、「受講者の一人でも多くが合格してくれば幸い。今後も企画を継続し危険物取扱者資格の全JA職員100%の資格所持率を目指したい」と話していました。

(写真)試験直前講習会を受ける受験予定者

「地デジテレビ」の買い替えに 対応製品の事前研修会

7月11日より2会場で開催された「2009年度地上デジタル対応薄型テレビ展示会」に先駆け、6月26日、担当者の知識向上のためJA阿蘇は地デジ対応テレビの取り扱い研修会を、外部から講師を招き阿蘇市で開催しました。

地上デジタル放送の世帯カバー率は昨年末96%となり、薄型テレビへの本格的な買い替え需要が高まっています。

事前研修会では伊藤健司購買部長が「JAとして、組合員に最も身近なメディアとして定着しているテレビ放送が、改正電波法により地上デジタル放送へと完全移行することを啓発し、普及推進するとともに、情報化に対応したより快適な生活提案を的確に行う必要がある」と挨拶。参加者した担当者は、地デジのメリットや各部署にびったり合うサイズの提案方法から、設置調整時の注意点、チャンネル設定などを実践しながら確認しました。特に組合員からの質問が予想されるエコポイントについても学び、本番に備えました。



地デジのメリットや設置調整時の注意点など熱心に学ぶ担当者

ガス器具の無料点検実施に向け LPガス担当者事前研修会



「LPガスふれあい強化訪問点検キャンペーン」が8月12・13日、西原中央支所管内の約半分に当たる340戸で実施されました。このキャンペーンは、消費者(組合員)宅を訪問し、ガス器具の無料点検を実施し不具合の有無を説明するとともに、点検チェックリスト(安心診断カルテ)を作成し、消費者へ周知を行うことを目的としています。

キャンペーンを前に7月7日、西原中央支所で事前研修会が開かれ、担当職員は実際に訪問した場合、点検やチェックリストの記入・作業内容や手法を学び、本番に備えデモンストレーションを行いました。(写真)本番に備えデモンストレーションを行う担当職員



タイヤの空気充てんに関する法律で 実際にパンク修理などを体験

J A阿蘇は7月16日、労働安全衛生規則で定められたタイヤの空気充てんに関する法律の特別教育を、プリチーストンタイヤサービスク九州阿蘇店の水上美千春店長を講師として本所で開きました。

水上店長は「空気充てんは簡単そうでリスクの高い作業。毎年国内で1〜2件の死亡事故を含む重大事故が発生している。簡単な作業であるが知識を習得し、自分の身を守って頂きたい」とあいさつ。

受講者は講師の説明やスライドを見ながら学び、質疑応答も飛び交いました。午前中は学科教育が



あり、午後からは受講者を3班に分け一の宮給油所で実施教育が行われました。実施教育ではタイヤパンク修理を実際に経験し、体験しました。

受講したスタッフは「これまで安易に作業を行っていたが、これからは自分の身を守るためにも慎重に作業をしたい」と感想を話していました。

今回の教育は、管内給油所のスタッフ対象に行ったもので、今回で3年目を迎え、J A阿蘇管内給油所スタッフの約9割(正職員は全て受講済み)が既に受講。今後、業務に支障をきたさないように全員が受講し、安全の知識及び技術の向上を高めていきます。



実際に作業を体験するスタッフ

平成22年度 JA阿蘇職員募集

1. 申込書類受付期間

◎高卒(平成22年3月卒業見込み)……学校を通じて申し込みをして下さい。

平成21年9月5日から平成21年9月9日

◎高卒(既卒)・短大卒・大学卒……直接JA阿蘇本所に申し込みをして下さい。

平成21年8月20日から平成21年9月9日

2. 試験日(一次試験) 平成21年9月16日(水)

3. 募集要領の配布 JA阿蘇本所総務部総務人事課および各中央支所で配布します。

お問い合わせ先

JA阿蘇本所 総務部総務人事課 (担当)時松・河津 (電話)0967-22-6111

資材店舗ディスプレイコンテスト県大会 JA阿蘇「グリーンなんごう」に最優秀賞

JA阿蘇の「グリーンなんごう」(藤本親幸店長＝南阿蘇村)が、JA資材店舗ディスプレイコンテスト熊本県大会で最優秀賞を受賞しました。この大会は、県内各地でホームセンターの出店が相次ぎ、チラシやPOP戦略により集客力も伸ばしている中、JA資材店舗の活性化をはかるため、県経済連が企画。熊本県下4JAから11店舗がエントリーしました。

大会ではあらかじめ県経済連から販売強化品目(今回は農業)が決定され、管内店舗の店長や職員が対象品目のディスプレイを作成するという内容です。

審査基準として、ディスプレイに製品の特徴などをイラストや文字で、またPOP等を手書きで作成しPRすることで、存在感がアピールされているかがチェックされました。審査には全農や経済連の職員が当たり、現地での採点と1次・2次審査が行われた結果、「グリーンなんごう」が最優秀賞に選ばれました。

藤本店長は「この大会に参加することで、商品の詳細な知識を習得することができ、組合員の皆様への紹介がスムーズにできるようになった。今は他の商品も随時ディスプレイしており、今後も継続させていきます」と、受賞の喜びを語っていました。



美容と健康におすすめ
「冷やして、どうぞ。阿蘇くわの葉茶」
全国各地へお届けします!



JA阿蘇では、阿蘇の農作物を活かした「阿蘇くわの葉茶」を5月より販売しています。この2カ月間に販売された「阿蘇くわの葉茶」は3万本以上。このたび、宅急便業者と提携し日本全国への宅配が可能となりました。

「阿蘇くわの葉茶」は、阿蘇の大地にて育った桑の葉茶を、小国産の緑茶とブレンドした商品です。近年、桑葉は健康食品として注目を浴び、桑の葉に含まれている桑特有の有用成分DNJ(デオキシノジリマイシン＝阿蘇くわの葉茶500mlペットボトル1本の中には6mgのDNJが含まれています)のほか、健康維持に欠かせないカルシウム、カリウム、マグネシウム、鉄、亜鉛などの必須微量金属元素、食物繊維、フラボノイドを含んでいます。

■主な地区への宅配料金＝「阿蘇くわの葉茶」500mlペットボトル24本入り(消費税送料込み)

九州管内3,275円、中国地方3,375円、四国・関西地方3,425円、中部・北陸地方3,525円、信越・関東地方3,725円、東北地方3,825円、北海道4,295円

■お問い合わせは＝JA阿蘇購買部(電)0967(22)6125

「くまもとあぐりん」
山本誠也さん(阿蘇市)の
トマトハウスを取材



山本さんのトマトハウスを訪れた矢野さん一家

JAグループ熊本「くまもとあぐりん」の取材が7月26日、山本誠也さんのトマトハウスで行われました。山本さんはトマト45畝、イチゴ30畝、合鴨米3畝を経営しています。

当日は読者リポーターの矢野さん一家(夫婦と小学4年の星樹君)が山本さんのハウスを訪問。山本さんからトマトについて説明があった後、早速、収穫体験をしました。最初、遠慮がちだった星樹君もトマトの収穫が気に入ったようで、赤く熟したトマトを葉の中から探してはうれしそうに収穫していました。お昼には山本さんの奥さんが腕によりをかけて作ったトマト料理

理と、山本さん宅で農業実習している中国人研修生直伝のトマトのデザート(中華料理)を試食しました。

山本さんは「午前中の短い交流でしたが、生産者としての姿勢・思いを少しでも伝えることが出来、有意義な時間を過ごせました。何よりも生産の現場を見て体験してもらい、そして喜んでもらえたのが最大の収穫でした」と話していました。

この「くまもとあぐりん」は8月26日の熊日新聞で紹介されます。

長陽チーム2連覇!!JA阿蘇職員親善野球大会



南部Dチームが優勝
JA阿蘇職員親善ソフトバレー大会
7月4日、熊本県役職員ソフトバレー大会予選を兼ねた第6回J

6月13日、阿蘇市で7チームが参加してJA阿蘇職員親善野球大会が開かれ、熱戦の結果、長陽チームが2連覇しました。この大会は熊本県役職員野球大会の予選を兼ね、職員の親睦と融和を図ることを目的としており、今年で8回目を迎えました。

開会式では中尾雄二組合長が「普段と違いユニフォーム姿で気合を感じます。支所間を越えて交流を大切にして楽しくプレーして下さい」とあいさつ。選手宣誓は長陽チームの木崎大介選手が力強く行いました。

長陽チームは1回戦、2回戦を大量リードで勝ち進み、決勝戦は小国郷チーム。2回裏、ランナー3塁で安岡選手の手で内野安打で先制し、片倉選手のセンター前タイムで2点目。5回裏にも1点を追加し3対0で勝利しました。

長陽チームの市原恵一監督は「2連覇のプレッシャーはあったが、選手個々がそれぞれ仕事をしてくれ」と喜びを語っていました。

長陽チーム(写真)とは8月1日に開かれた県大会に出場しました。



A阿蘇親善ソフトバレー大会が阿蘇市体育館で開かれ、18チーム98人が熱戦を繰り広げました。開会式で中尾雄二組合長が「仕事と同じように失敗を恐れず元気に、また年齢を考えてプレーをして下さい」とユーモラスにあいさつ。選手宣誓は小国郷中央支所管内の堀川美紀選手が行いました。試合は4コートで2試合行い、コート優勝が決勝トーナメントに出場。決勝戦は南部地区管内の「南部D」と阿蘇町中央支所管内の「G O E M O N」チームが対決。接戦の結果、南部Dチームが優勝しました。

上位4チームは9月5日に開かれる県大会に出場します。

(写真)優勝した南部Dチーム

理事会・監事会報告

■平成21年度第4回理事会

日時 平成21年6月22日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

5月末実績報告

1) 第8回通常総代会の開催について

2) 平成20年度決算期末監査報告書、監査概要書および
内部統制等に関する改善指示書の交付について(全中監査)

3) JA阿蘇米穀共同計算委員会設置要領の改正並びに委員の
選出について

4) JAマイカーローン・キャンペーン等に伴う金利対応について

5) 出資減口について

6) 貸出金について

7) 平成21年産米出荷契約金について

8) 北部地区給油所取得(案)について

報告事項1 新任非常勤理事研修会について

報告事項2 非常勤理事研修会について

4. 閉会

■平成21年度第5回理事会

日時 平成21年7月8日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

1) 農協法の一部改正に伴う利益相反管理体制の整備について

2) 業務報告書の行政庁への提出について

3) 事業のご案内2009(ディスクロージャー誌)について

4) 新任理事の専門委員会所属について

5) 貸出金について

6) 平成21年度役員報酬(案)について

7) 職員夏期賞与支給について

8) 役員賠償保険継続加入と保険料徴収(案)について

9) 農業生産資金(農機具購入)及び農機ローン金利改定
(案)について ✓

10) 北部給油所の今後の進め方について

11) 「実っ田くん」「育っ太くん」の取扱いについて

報告事項1 平成21年度座談会開催状況報告について

報告事項2 平成19年産米の最終精算について

報告事項3 「JA活動に関する組合員意向調査」結果
報告について

4. 閉会

■平成21年度第6回理事会

日時 平成21年7月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(信用評定委員会)

6月末実績について

1) 平成20年度決算監事監査回答書(案)について

2) 平成22年度JA阿蘇職員募集について

3) 貸出金について

4) 北部給油所の契約について

報告事項1 平成21年度米麦等種即監事監査実施について

報告事項2 21年産米検査員及び担当職員配置について

報告事項3 JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する
事項の報告」について

報告事項4 地産地消による冷凍米飯愛食運動について

4. 閉会

●平成21年度第3回監事会

日時 平成21年7月16日

午後1時30分

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1) 平成20年度決算事務監事監査回答について報告

2) 平成21年度米麦等種即監事監査実施(案)について

3) 役員(監事)報酬(案)について

4) 監事視察研修について

5) 固定資産確認について

6) その他

4. 閉会

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
井 美 穂	小国郷中央支所金融課 小国金融店舗係	平成21年7月1日	小国郷中央支所金融課金融係
佐藤ひろみ	一の宮中央支所購買課波野購買係 (一の宮グリーン)	平成21年7月1日	一の宮中央支所購買課産山購買係 (一の宮グリーン)

JA阿蘇名湯めぐり 白山スーパー林道と奥能登・佐渡ヶ島3日間



旅行代金108,000円(JA発着・和室定員利用)

利用予定ホテル:和倉温泉 美滝荘 加茂湖温泉:吉田屋

添乗員:同行して旅程管理業務を行います

食事:朝食2回 昼食3回 夕食2回

申込金:6,000円(旅行代金に充当します)

申込み締切日:出発の1ヶ月前

募集人員:40名 最少催行人員:25名

旅のポイント

☆紅葉の白山スーパー林道を横断します。

☆世界遺産「白川郷」観光

☆前田利長公の菩提寺「瑞龍寺」見学

☆輪島の朝市・輪島千枚田・輪島漆工展見学

☆能登半島から佐渡へは高速船に乗船します

☆佐渡ヶ島の名所を見学します。

☆夕食時、飲物付き

日次	日付	スケジュール【行程】☆入場見学 ○下車見学 ●車窓見学	食事
1	10月28日(水)	JA阿蘇(早朝) - 福岡空港(朝) - 小松空港(午前) - 白山スーパー林道 - 白川郷(昼食) 白川郷IC - ○高岡山 瑞龍寺(前田利長公の菩提寺) - 和倉温泉(泊) 宿泊:和倉温泉 美滝荘	× 昼 夕
2	10月29日(木)	ホテル - ○輪島朝市 - ○漆芸会館 - ○奥能登千枚田 - 珠洲港~~~~~ 小木港 - たらい船 - ●佐渡歴史伝説館 - 両津(泊) 宿泊:両津 湖畔の宿吉田屋	朝 昼 夕
3	10月30日(金)	ホテル - 大佐渡スカイライン - ●史跡 佐渡金山 - ●尖閣湾揚島遊園 - ○めおと岩 - 両津港~~~~~新潟港 - 新潟空港 - (20時頃)福岡空港 - JA阿蘇(23時頃)	朝 昼 ×

※天候・交通事情等により行程及び時間帯が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

高岡 瑞龍寺(前田利長の菩提寺)	輪島 朝市のイメージ	佐渡 小木湾 たらい舟

「名湯めぐり企画」に関する申込み お問い合わせ は最寄の支所へ

申込み期限 : 平成21年9月15日(火)



Dr. やまさん

お知らせ

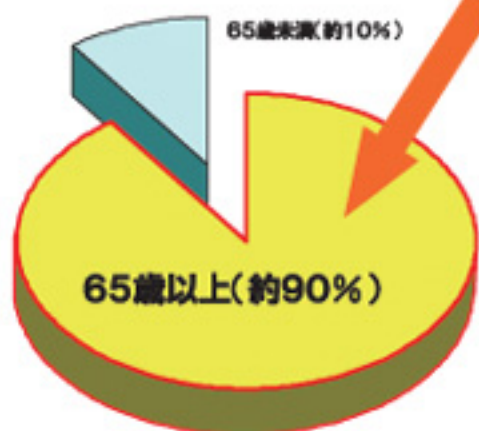
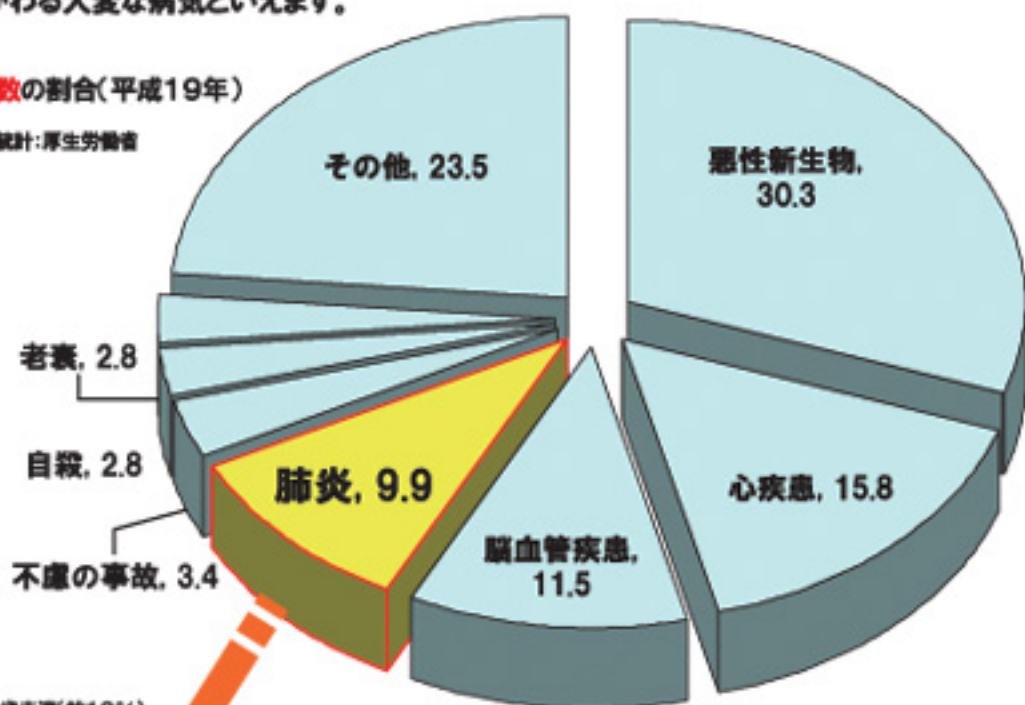
“肺炎”は高齢者の大敵



肺炎というと、「かぜをこじらせてなる病気」と軽く考えていませんか？肺炎は日本人の死亡原因の第 4 位に位置しています。しかも、**肺炎で亡くなる人の約 90%は 65 歳以上で、高齢者の直接死因の約 30%が肺炎**です。高齢者にとって肺炎は、命にかかわる大変な病気といえます。

主な死因別死亡数の割合(平成19年)

人口動態統計:厚生労働省



肺炎の原因は、ウイルスなども含まれるが多くの細菌によるもので、その半分近くが「肺炎球菌」で、抗生物質の発達などにより減少しつつありましたが、最近また肺炎の死亡率が上昇しています。

しかし、肺炎球菌による肺炎などの予防に肺炎球菌ワクチンが開発され、接種できるようになっています。

肺炎球菌ワクチンの効果は、人によって異なりますが、**5年程度**続きます。

ただし、毎年接種するインフルエンザワクチンと異なり、アレルギー反応の可能性があるため、**日本では原則1回だけの接種しか認められていません。**

肺炎は、呼吸器の慢性疾患や抵抗力の低下した高齢者にとって重篤になりやすい病気です。発病の予防には、肺炎球菌ワクチン接種が有効です。ワクチンを接種しておくと、万が一肺炎にかかっても、軽い症状で済む効果も期待されます。

ワクチンの接種につきましては、最寄りの病院やかかりつけの医師によくご相談ください。

厚生連でも実施しています。事前予約が必要ですので、希望する場合はご連絡ください。



熊本県厚生連診療所

所長 中山 茂樹

TEL096 (328) 1250 FAX096 (328) 1258